



看護局いきいき通信



編集委員：細川 西村

令和5年12月発行(年3回発行)

発行責任者：岡本

皆さまお変わりなくお過ごしでしょうか。引き続き看護局の動向を伝えていきますので、来年度もどうぞ宜しくお願いします^^

出張講義派遣！

整形病棟・外来の二次性骨折に対する取り組み

二次性骨折とは、大腿骨近位部骨折を含めた脆弱性骨折を発生した後に引き続き反対側の骨折を起こしてしまうことです。高齢化が進み、転倒してしまう高齢者は多く、大腿骨近位部骨折の骨粗鬆症患者では生命予後が芳しくないこと、初回の骨折が二次骨折のリスク因子になること、骨折・転倒は要介護が必要となり大きな要因となります。

二次性骨折予防継続管理料について

【二次性骨折予防継続管理料1】1000点(入院中1回・手術を担う一般病棟で算定)

【二次性骨折予防継続管理料3】500点(1年を限度として月に1回外来で算定)

骨粗鬆症の治療による二次性骨折の予防を推進する観点から、骨粗鬆症を有する大腿骨近位部骨折患者に対して早期から必要な治療や指導を実施し患者さんのQOL向上に向けて取り組んでいます。2022年4月診療報酬改定において新設された管理料です。

骨粗鬆症の評価と治療に併せて、薬剤指導、病棟看護師でリハビリ運動と栄養の指導を行い、その後1年間外来へ引き継ぎ、指導を継続しています。

5A病棟スタッフ

骨の脆弱な方・骨折リスクの高い方を対象に、整形外科病棟と外来が連携しながら、二次性骨折予防継続管理料算定に取り組んでいます。外来では問診の他、カルシウム摂取量チェック表や転倒アセスメントシートを用いて評価を行い、患者個人の状態に合った栄養・運動・生活を患者・家族・医師と共に考えています。評価内容と指導内容を二次性骨折予防診療記録として患者さんへ配布しています。患者さんの骨折リスクを少しでも予防できるように、これからも病棟と共に取り組んでいきたいと思ひます。

整形外来スタッフ

高田中学校のキャリア教育の一環として大和高田市立病院の看護職員が講師(ゲストティーチャー)に行ってきました！

働くことの楽しさややりがいなどを中学生に向けて職業講話しました！

助産師講話

命の始まりと命の大切さ、第二次性徴での心と身体の変化をテーマに、現在高田市内を中心に出席授業を行っています。対象は小学校2年生から中学校3年生と幅広いため、それぞれの成長段階に応じた授業ができるよう、心がけています。「色々な人に支えられている事を実感できた」「一つしかない命を大切にしようと思った」「大切な命を受け取る覚悟と将来の責任を持つ覚悟が大事だとわかった」これらは、中学校3年生から頂いた感想文の一部です。少しでも内容が心に残り、命について考える機会になれば嬉しく思います。自分や周りの人の命を大切に日々過ごしていってくれるよう願っています。2B病棟 0Ns



看護師講話

中学校2年生の15名に、仕事内容や看護師への道のりなどを話させてもらいました。みんなキラキラした目で聞いてくれて、看護師部門では血圧測定などの体験をして楽しんでもらえました。

3B病棟 NNs



新人看護職員 ローテーション研修



ローテーション研修では部署ごとの役割や他部署との連携など、自部署で勤務するにあたり必要な知識を身につけることができました。この学びや知識を今後の看護に活かしていきたいと思ひます。

4B病棟 KNs



ローテーション研修を通して、検査や透析、処置を受けられる患者さんを実際に見させていただき、より深く看護について学ぶことができました。この学びを活かしより安全安楽な看護をしていきたいと思ひます。

4B病棟 FNs



ローテーション研修を通して、自部署でよくある検査の実際や、透析、放射線治療の様子など見学できたことで、必要な看護を学ぶことができました。患者さんの安全を守り安心して治療・看護を受けていただけるよう学んだことを活かしていきたいと思ひます。

4B病棟 KNs



研修を終え、自部署では経験できない技術などの見学、実施や関わりの深い部署との連携について学び、新しい気づきも得ることができました。今回の学びを自部署での看護の実践に活かしていきたいと思ひます。

3A病棟 INs



色々な部署へ行かせてもらい、病棟で行う業務との繋がりや、疾患への知識が深まりました。自部署へ戻った際、根拠をもった観察や看護に繋がっていきます。

3A病棟 MNs